

「強いマリアニストの精神で世界に生きる」

仁川 MLC 会員と地域社会は、聖書と典礼暦に合わせて、その都度のメアリーの態度を默想し、「強いマリアニストの精神で世界に生きる」ことを実現するための具体的な計画として自分自身を振り返りながら、メアリーのように生きようと努めています。また、Zoom を使用したオンライン活動を通して「The Grain of Wheat」(クエンティン・ハーケンワース神父による)を研究して、マリアニストの精神を共有しています。各コミュニティのメンバーは、SNS を使って福音や創設者の言葉を共有して、マリアニストの精神を交換しています。

創始者の精神を理解し、深めるために、シスター・アデレの手紙を主題ごとに細かく分類する計画を立てています。できるだけ早く計画を始めたいと思います。参加者の時間と情熱と努力が必要ですが、メンバーが手紙を通して彼女の精神性をよく理解し、それを生活の中で実践するためには、間違いなく必要な仕事だと思います。

COVID-19 が原因で、教区の病院での典礼サービスと介護施設での音楽奉仕が検疫規則により中断しています。地元コミュニティの放課後学童保育と、結婚のために移住している女性たちのカウンセリングを援助するために、彼女たちの家族を訪問しています。また、都市と農村の共存活動の一環として、農村で生産された農産物を会員や都市住民に直接販売しています。

COVID-19 は私たちの日常生活に多くの変化をもたらしました。

人と直接会うことを恐れ、私たちは不確かな未来へと突き進んでいます。それでも、神が私たちに与えてくださる希望の日々は、私たちが貧しく苦しんでいる隣人に、どのように私たちが希望を与えられるか、また、彼らに明るい笑顔を与えられるような贈り物に自分自身を変える方法について考え、努力する日々を過ごすように願っています。

「恵み深い神が、私たちの人生の十字架と慰めを彼の素晴らしい知恵に一致させてくださっていることに、私たちが気づきますように。」 (シスター・アデルの手紙 No. 199.4、1813)

仁川 MLC からのニュース

COVID-19 のパンデミックによる検疫のために、プラスチック容器の使用が急速に増加しています。仁川 MLC は、9 月 1 日の「アースデイ」を期して、現在、環境保護団体が推進している『プラスチックなしの誓いキャンペーン』への参加を呼びかけました。これは全国的な環境保護キャンペーンです。仁川 MLC は、コミュニティおよび個人として、日常生活での使い捨てプラスチック容器の削減を誓い、ペットボトルとコーヒーカップを一回だけ使って捨ててしまうような使い方を止めることに決めました。

私たちは 10 月 10 日に、ケニアのスブキアの聖母マリアによる『マリアニスト世界祈りの日』を開催しました。COVID-19 検疫規則により、メンバーの全員が参加できたわけではありませんが、すべてのコミュニティの代表者が参加しました。10 月 9 日に司祭として叙階されたミンヨン（マイケル）キ神父がミサの司式を務めました。私たちは彼が初心を忘れずに、彼の人生を生きるように祈りました。



「プラスチックなしの誓い」
10 月 10 日「マリアニスト家族世界祈りの日」の集まりの後で